

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 11 日現在

機関番号：32605

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20520713

研究課題名（和文）東アラブ諸国におけるマイクロファイナンスの実態と
そのインパクトに関する比較研究研究課題名（英文）Comparative Study on Microfinance and in the Middle Eastern
Arab Countries and Their Impacts

研究代表者

鷹木 恵子（TAKAKI KEIKO）

桜美林大学・人文学系・教授

研究者番号：60211330

研究成果の概要（和文）：

本研究は、貧困失業削減手法としてのマイクロファイナンスの実態とそのインパクトを、東アラブ諸国を対象に検討することを目的としたものであったが、研究開始後に世界金融危機が発生、その後は「アラブの春」の民主化動向により対象地域の政情が著しく不安定化した。そのため、その現状に臨機応変に対応し、本課題を広義の開発とガバナンスの領域へと発展させ、民主化動向や革命の影響も含めて現地調査を行い、幾つか報告文を発表した。当初の課題を多少変更したが、現状に即した一つの有意味な研究成果には繋がれなかったと考えている。

研究成果の概要（英文）：

The microfinance (MF) is generally considered to have the positive impacts on the reduction of poverty and on the job-creation. This research project aimed to survey the actual situation of the MF industries in the Middle Eastern Arab countries and their impacts. In the first year of this project, the global financial crisis broke out which naturally affected the MFIs in this region. In 2011, the democratization movement so called "Arab Spring" begun from Tunisia spread to most of the Arab countries. These events made me realize the dynamism of the realities and I enlarged my perspective to consider the development and governance. Although the research theme was altered, I could get some research results and have published several articles concerning these incidents.

交付決定額

（金額：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学・民俗学

キーワード：マイクロファイナンス、中東諸国、雇用創出、ジェンダー格差是正、民主化

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、2000年代初頭から、主に北

アフリカのマグリブ三国（チュニジア、モロッコ、アルジェリア）を中心にマイクロクレ

ジットの実態とそのインパクトに関する文化人類学的調査研究を行ってきた。そうした研究の経緯を背景にして、マイクロクレジットからより広義のマイクロファイナンスへと研究対象を広げて、また地理的にも東アラブ諸国を含めて、当初、同様の実態およびインパクト調査研究を行うことを構想して、研究プロジェクトの計画を立案した。

2. 研究の目的

経済のグローバル化によって経済格差が広がるなか、その格差は正や貧困削減は世界的にも重要課題と認識されてきている。また特に中東諸国においては、人口構成比における若年層の割合が高く、雇用創出問題はいずれの国家でも極めて深刻な喫緊の課題となっている。こうしたことから、この地域に広がりつつあるマイクロファイナンスの実態とそのインパクト（貧困削減、雇用創出、ジェンダー格差の是正など）について調査することを、本研究での目的とした。

3. 研究の方法

研究方法としては、文化人類学的な現地調査を基本としつつ、入手した文献による調査、さらにマイクロクレジット・サミットなどに参加しての情報収集や、また世界的な MF 部門の動向について CGAP などから情報収集するかたちで実施した。現地調査では実際に幾つかの大小の MF 機関を訪れて（エジプト、ヨルダン、トルコ、UAE）、MF のプログラムに関する資料や金融活動報告の情報を入手して分析した他、MF のスタッフたちやまた利用者たちに現地で聞き取り調査を実施した。マイクロクレジット・サミットについては、2008 年にインドネシアで開催された会議と、また 2010 年にケニアで開催された会議に参加し、世界の MF 部門の動向に関する情報を収集した他、MF 部門で活躍している人々への聞き取りやまた研究者たちとの意見交換を行った。

4. 研究成果

上記のような目的をもって計画された本研究であったが、研究を開始したその年に米国での金融破綻に始まる世界金融危機が起り、それらはドバイショックなどとしても知られるように、少なからず中東諸国にも影響を及ぼし、MF 部門にも影を落とすこととなった。さらに失業率が高止まりするなか、チュニジアに始まった「アラブの春」の民主化動向は、現地の政治社会情勢を不安定化させ、それは治安や経済をも悪化させることとなった。すなわち、MF の実態やインパクトを調査研究するにあたって、それのみを取り上げるだけでは不十分であり、こうした世界経済の動向や民主化などの現状やその動向に

も関心を払う必要に迫られることとなり、必然的にこうした民主化動向にも注目し、また研究範囲を広義の開発やガバナンスの問題へと拡大し発展させていった。したがって、そうした関心からもチュニジアなど従来の調査地も含めて幅広く調査研究を進めることとなり、それらの成果はまた論文や報告文のかたちで発表した。

その他に中東・北アフリカの開発問題と関連して常に議論の対象となるジェンダー・イシューについては、明石書店から Z. S. サルヒー編著の『中東・北アフリカにおけるジェンダー：イスラーム社会のダイナミズムと多様性』と題した共訳本を 2012 年 1 月に出版し、研究文献翻訳の成果へと結びつけることができた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 5 件）

- ① 鷹木恵子 「チュニジアのオアシス地帯 — 伝統的ナツメヤシ文化の変容・保存・創造」名古屋大学『内陸乾燥地文明研究』第 3 巻、2012 年 pp. 1-32. (査読あり)
- ② 鷹木恵子 「チュニジア・ジェリード地方のレンガ建築とエコレンガ・プロジェクト — 日本の JICA 技術協力の事例とその課題」名古屋大学『内陸乾燥地文明研究』第 5 巻、2012 年 pp. 1-23. (査読有り)
- ③ 鷹木恵子 「チュニジアの民主化過程の現状 — ローカル・コンテクストからの考察」『アジア研ワールド・トレンド 特集「アラブの春」と中東政治の構造変容』2012 年 1 月号、No. 196, pp. 24-29. (査読あり)
- ④ 鷹木恵子 「チュニジア革命ともう一つの公共空間」日本アフリカ文化協会、『アフリカ』2011 年 Summer No. 2, pp. 42-45. (査読あり)
- ⑤ 鷹木恵子 「マイクロクレジット融資を受けて働くアラブ人の女性と男性」『地中海

学会月報』2008、315号表紙、p.8(査読なし)

[学会発表](計16件)

- ① TAKAKI Keiko “Les Programmes de Microcrédit aux pays Maghrébins — le Maroc, la Tunisie et l’Algérie.” 2011年11月25日、フランス語圏アフリカ出身研修生向けの講演、JICA札幌センター。
- ② 鷹木恵子 「イスラームの理念と経済活動 — ハラルとハラームの視点から」2011年11月12日、宗教とビジネス研究会(代表者:住原則也)、天理大学。
- ③ 鷹木恵子 「意味の網目を読み解くこと、紡ぐこと — マグリブ文化人類学再考」2011年9月18日、「中東☆イスラーム教育セミナー」東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- ④ 鷹木恵子 「チュニジア革命とナツメヤシ・オアシス地帯」2011年9月11日 アラブなりわいプロジェクト国際会議、総合地球環境学研究所。
- ⑤ 鷹木恵子 「地中海の南北地域におけるムスリム女性とヴェール」2011年7月18日、地中海学会年次大会「地中海トーキング」、日本女子大学・成瀬記念講堂。
- ⑥ 鷹木恵子 「マイクロクレジットと貧困削減: アラブ諸国の事例を中心に」オリエント・クラブ講演会、2010年11月、国際文化会館。
- ⑦ TAKAKI Keiko “Microcrédit aux pays Maghrébins et le développement communautaire”. 2010年11月、JICA札幌センター。
- ⑧ 鷹木恵子 「チュニジア・オアシス地帯の伝統的生活とその未来 — ナツメヤシとレンガと太陽エネルギー」公開講演会「石油がなくなったとき、どうやって生

活していきますか」2010年9月、総合地球環境学研究所。

- ⑨ TAKAKI Keiko “Ecumenism and Transnational Movement in Islam: A Peacebuilding Strategy of the Sufi Tariqa al-Alawiyya. *International Symposium Blurring Boundaries: Toward the Anthropology of Trans-localities in and beyond the Mediterranean*. 2010年3月31日、Graduate School of Osaka University, Institute of Human Sciences.
- ⑩ TAKAKI Keiko “Al-Alawi Sufi Tariqa and Public Spheres in Algeria and in Europe: The Otherness and Beyond in the Tariqa Activities. *International Symposium, The Otherness and Beyond: Dynamism between Group Formation and Identity in Modern Muslim Societies*. 2009年12月6日、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。
- ⑪ TAKAKI Keiko “Le Microcrédit aux pays arabes et le développement communautaire.” 2009年11月16日、JICA札幌センター。
- ⑫ TAKAKI Keiko “L’éthique dans la mondialisation: l’économie et la répartition des richesses, le Microcrédit.” *Conférence Internationale du Centenaire de Tariqa al-Alaouia*. 2009年7月28日、Université de Mostaganem, Algérie.
- ⑬ 鷹木恵子 「チュニジア・ジェリド地方のレンガ造建築とエコレンガ・プロジェクト: 日本の技術協力の事例」日本文化人類学会第43回研究大会、2009年5月31日、大阪国際交流センター。
- ⑭ 鷹木恵子 「イスラーム社会における豚 —

ハラールとハラーム」茨城大学大学院教育研究科 COE プログラム「地域教育資源の可能性」講演会、2009年2月 茨城大学大学院教育研究科。

- ⑮ TAKAKI Keiko “Les programmes du microcrédit aux pays Maghrébins.” 2008年11月、藤女子大学。
- ⑯ TAKAKI Keiko “Microcredit and Development in the MENA Region.” at *International Conference: New Horizons in Islamic Area Studies: Islamic Scholarship across Cultures and Continents*. 2008年11月、Kuala Lumpur, Malaysia、

[図書] (計7件)

- ① 鷹木恵子・大川真由子・細井由香・宇野陽子・辻上奈美江・今堀恵美訳、ザヒヤ・スマイル・サルヒー編著『中東・北アフリカにおけるジェンダー — イスラーム社会のダイナミズムと多様性』(鷹木担当箇所：序章、2章、3章、10章、訳者あとがき)、世界人権問題叢書(79)、明石書店、412頁。2012年1月。(原書：Zahia Smail Salhi ed. *Gender and Diversity in the Middle East and North Africa*. London: Routledge, 2010. 198 pp.)
- ② *Graines de Lumière: Héritages du Cheikh al-‘Alawi. Centenaire de la Voie soufie ‘Alawiyya 1909-2009*. Paris : al Bouraq, 2010, TAKAKI Keiko “L’éthique dans la mondialisation: l’économie et la répartition des richesses, le Microcrédit.” pp.233-238.
- ③ 鷹木恵子編著 『チュニジアを知るための60章』 明石書店 2010年、380p.
(うち、「貧困削減とマイクロレジッ

ト」の章を含む23章分と3コラム担当)

- ④ 日本沙漠学会編 『沙漠の事典』丸善2009年、鷹木恵子「沙漠の景観 オアシス」pp. 38-39. 鷹木恵子「沙漠での生活 貧困・開発・女性」p. 91.
- ⑤ 私市正年編『アルジェリアを知るための62章』明石書店所収 2009年、鷹木恵子 「37章 市民社会とNGO — ポスト社会主義のなかで」pp. 218-222 および鷹木恵子「38章 フェミニズム運動と家族法論争 —アルジェリア女性たちの挑戦」pp. 223-227.
- ⑥ 鷹木恵子監修訳 デイリー・ハリス、サム『マイクロクレジットの現状 — サミット報告書 2006』日本リザルツ、2008年、77 p.
- ⑦ Otsuka, Kazuo. and Eickelman Dale. eds. *Crossing Boundaries: Gender, the Public, and the Private in Contemporary Muslim Societies*. TAKAKI Keiko “Women’s Income-Generating Work and the Public/Private Sphere - A Tunisian Rural Case.” Tokyo: Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa. 2008, pp. 23-47.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

鷹木 恵子 (TAKAKI KEIKO)
桜美林大学・人文学系・教授
研究者番号：60211330